

試合の進行等について協力をお願いします



1 競技について

(1) 競技方法

本大会は本年度（公財）日本バドミントン協会競技規則に準じ、本大会運営規定により行います。

- ① 団体・個人とも21点3ゲームの正式ルールで行う。
- ② 団体の予選リーグは3マッチすべて行い、決勝トーナメントは2マッチ先取とする。
※ チェンジエングの時には、監督・コーチ(マネージャー)も席を交代する。

21点3ゲーム(正式ルール)では

- ・ 20点オールになった場合はその後最初に2点リードしたサイドそのゲームの勝者となる。
- ・ 29点オールになった場合は30点目を得点したサイドがそのゲームの勝者となる。
- ・ すべてのゲーム中に一方のサイドのスコアが11点になったとき、60秒を超えない範囲でインターバルを取ることができる(認める)
- ・ 第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えない範囲でインターバルを認める。

(2) 団体

- ① 団体戦のオーダー用紙の提出は試合開始予定時刻の15分前をお願いします。ただし、その時間に試合が行われている場合は、試合終了後5分以内をお願いします。ただし、試合進行の都合でオーダー提出の時間が早まることもあります。その時には、放送にて連絡いたします。オーダーの提出を厳守してください。
- ② オーダーの提出は監督が行います。オーダー交換の場所は本部席で行います。
- ③ 同一選手が単・複または複・複を兼ねてはいけません。
- ④ 若番チームが主審から向かって左側に整列をする。(監督・コーチも)あいさつ終了後、主審が指示してから試合前にそれぞれ2分間の公式練習を取ります。
- ⑤ 予選リーグで、同率の場合は「マッチ率」「ゲーム率」「得失点差」「直接対決の勝者」の順で決定。決勝トーナメントは敗者主審、線審をお願いいたします。
- ⑥ 第1ダブルスとシングルス、第2ダブルスを同時並行とすることもあります。第2ダブルスが、第1ダブルス・シングルスより早く終了し、勝負が決した場合には、打切りとします。また、同率の場合は「マッチ率」「ゲーム率」「得失点差」「直接対決の勝者」の順で決定。また、スコアシートには必ず勝者サインを記入させてください。
- ⑦ 団体戦について、体力温存のための選手の棄権は認めません。
- ⑧ 団体戦は、タイムテーブルの試合順を優先しますが、進行上変更もあります。試合の進行状況によっては3コートを使って同時に行うこともありえます。
- ⑨ 表彰は第3位まで行います。
- ⑩ 審判は対角の2人制で行い、相互審判とします。主審と線審、得点掲示と線審を兼ねて行います。
- ⑪ 予選リーグの終了後から決勝戦終了まで交流戦を実施します。予選リーグの敗退が決定し、参加希望の学校は直接サブアリーナの役員にお伝えください。※シャトルは各自でご準備ください

(3) 個人

- ① 選手は選手集合の案内板を見ながら、選手集合所に待機願います。
- ② 組み合わせの若番が主審から見て左側のコートに入る。
- ③ 公式練習は主審の合図で3分間行います。シングルスは対戦相手です。シャトルは各自準備。
- ④ 連続試合になるときは最低5分の間隔をあけます。
- ⑤ コーチングシートに座ることができるのは、申込登録された監督、コーチまたはマネージャーとする。2コート以上で同一校の選手が試合を行っている場合、監督、コーチまたはマネージャーの順で入ることができる。また、インターバル中のアドバイスについては、監督、コーチまたはマネージャーはインターバル中の時に限り、コートを離れてアドバイスに行くことができる。
- ⑥ 表彰は第3位まで行います。
- ⑦ 審判は対角の2人制で行い、敗者審判とします。主審と線審、得点掲示と線審を兼ねて行います。
- ⑧ 10:30から交流戦を実施します。参加希望の選手は直接サブアリーナの役員にお伝えください。(10:10受付開始予定)※シャトル・主審、線審は各自でお願いします。

(4) 進行について

- ① タイムテーブルに関してはあくまでも予定の時刻であり、進行によりコート、時刻に変更があります。個人・団体とも試合番号優先で行います。
- ② 本大会の審判は対角の2人制で行う。(主審と線審、得点掲示と線審を兼ねて行う) 団体については、相互審判。個人は原則敗者審判。(変更の場合は監督会議時にお伝えします)
- ③ 団体、個人とも初回戦の主審はタイムテーブルに記載しています。
- ④ 敗者はスコアシート等を主審からもらい、本部席までもってくる。本部席隣の主審席で待機をしてください。(特にダブルスで、敗者の生徒は必ず2名、本部に来て、スコアシートを戻してください。)
- ⑤ 主審、線審も選手のプレーを支える一人であると考え、主審や線審を簡単に後輩にさせることがないように、ジャッジがしっかりできる人をお願いします。

2 競技規則について

(1) 水分補給等

競技中の汗拭き、水分の補給については、主審の許可を得て行き、ゲームの中断にならないようにする。水分補給用容器はスクイズボトルを使用し、かごに入れる。

(2) 試合態度

- ① プレーを故意に遅らせたり中断したりすることをしてはならない。(16条第6項)
○くつひもの結び直し ○構えない ○サーブをなかなか打たない ○汗拭きのために勝手にコートを出るなど
- ② 見苦しい服装、無礼な態度、言動。耳障りな掛け声や叫び声など。(16条第6項)
- ③ 審判に対しての質問は認められるが(団体戦においては、当該選手および監督。個人戦においては当該選手のみ)、抗議はできない。
※これらの行為が度重なる場合は、警告の後、フォルトをとる。
※この場合の「質問」とは靴のひもを結びなおす、汗を拭くことなどを審判に尋ねることです。
- ④ リストバンドは認めるが、汗止めのアンダーラップなどは認めない。
- ⑤ サービス時のフォルトは1度目から取ります。
- ⑥ ウエアの背面に文字が入っているゲームシャツ着用の場合は必ずゼッケンなどで隠し、見えないようにすること。また、ゼッケンは4点止めをすること。
- ⑦ 監督、コーチ(マネージャー)はベンチやコーチングシートに入る場合、競技用シューズや体育館シューズを履くこと。また、服装も試合にふさわしい服装とし、シャツ、ブラウス、長ズボンまたはスカートとする。(七分丈ズボンやノースリーブ・ジュニアチーム名のウエアは不可。)
- ⑧ アンダーウエアの着用は、日本バドミントン協会の検定合格品であれば、着用を認めます。

(3) 試合上の注意

- ① シャトルがインプレーでないときに限り、プレーヤーはマッチ(試合)中にアドバイスを受けることができます。プレーヤーはインターバルを除き、マッチ(試合)中、主審の許可なしに、コートを離れてはいけません。

1 ラリー中のアドバイスはしてはいけません。

2 監督・コーチ(マネージャー)はプレーを故意に遅らせることをしてはいけません。

- ② ラリー中の応援は保護者・生徒も含めて一切禁止します。
- ③ ゲーム中の汗拭き、水分補給は、主審の許可を得てから行うこと。なお、タオル、水筒等はかごの中に入れること。(主審の近くにかごを置くこと)
- ④ インターバル中の「アドバイス」は監督及び、コーチ(マネージャー)計2名となります。関係ない人のアドバイス、複数生徒のアイシングなどはできません。(特に団体)

(4) 使用シャトルについて

1種検定合格品(気温に適したもの)を本部で準備します。公式練習用シャトルは持ち寄りをお願いします。

(5) 応援について

- ① 競技中は、ゲームの支障になりますので、カメラのフラッシュは禁止します。
- ② 各応援旗は、応援・競技の邪魔にならないように貼ってください。また、応援旗は競技の特性上、白色を基調としたものはご遠慮ください。また、個人名や寄せ書き、ジュニアチーム名などが入った応援旗の掲示もご遠慮ください。
- ③ ゴミ、空缶を残さず、持ちかえること。なお、体育館内・周辺のゴミ箱へのゴミ投棄も厳禁です。

- ④ 選手の健康管理、コンディションの調整は各チームで配慮願います。
- ⑤ 体調管理のためのうちわの使用については認めますが、うちわをたたいての応援など、目的外の使用は認めません。(特に、ラメの入ったうちわはプレーの妨げになるので、使用を控えてください)
- ⑥ 立っての応援は危険であり、後ろの人が見えません。座っての応援をお願いします。
- (6) 主審や線審をするときの注意(生徒の皆さんへ)
- ① 主審氏名は必ず記入してください。(学校名まで)消しゴムキャップは必ず戻してください
- ② 明らかに主審がジャッジミスをしたときには、主審の判断で変更できます。それ以外は、線審のジャッジに従います。
- ③ サービスフォルトは1度目から取ってください。
- ④ 主審も線審もそのゲームを作る「プレイヤー」の一人です。安易に後輩にさせることがないように自信をもって堂々として行ってください。
- ⑤ 主審をしているときに質問や疑問があるときには遠慮なく手を挙げてください。
- (7) その他
- ① ゲーム進行上、タイムテーブルとコート・時間が変わる場合があるため、場内放送に注意すること。
- ② 病気やけがの場合は、進行の妨げにならないようにすること。
- ③ 選手が倒れた場合、本人の意思を確認し審判長の判断を仰ぐこと。
- ④ コートに持ち込めるもの
ア かごに持ち込めるもの(主審に許可をもらいながら使える道具と考えてよい)

・ラケット ・シャトル ・スクイズボトル ・タオル ・滑り止め

イ ベンチに持ち込めるもの(60秒、120秒のインターバル時にベンチからコート内に持ち込める。)

・氷のう ・濡れタオル ・クーラーパック(A4サイズ) ・コールドスプレー ・うちわ(たたいての応援不可)

ウ ベンチに持ち込めないもの

・大きなクーラーボックス ・モバイル機器(タブレット 携帯電話等)

- ⑤ 体育館フロアには、試合を行っている選手・監督・コーチまたはマネージャーおよび役員のみとします。他は応援席に上がってください。また、監督及びコーチまたはマネージャーの申請を行っていない方がコーチングシートに座ることを禁止します。
- ⑥ 大会申込書に記載された個人情報の利用は大会成績(報道機関等も含む)の公表であり、大会にかかわる諸業務以外には使用いたしません。上記のことに同意されない学校がある場合は、監督会議終了後に申し出てください。(連絡なき場合は同意したものとして扱います)
- ⑦ 1日目の試合終了後、団体戦の表彰式を行います。
- ⑧ 長崎県中体連バドミントン競技部のTwitterでも情報、結果などを公表しています。
@etcnagasaki
- ⑨ 「第8回長崎オープン九州中学校バドミントン大会参加者の留意事項」(長崎県バドミントン協会HPに記載)を順守すること。(別紙1・別紙2を1日ごとに提出)なお、留意事項を守れていない方(応援者を含む)が大会に参加することは固く禁止します。